

# 事務事業評価資料

施策名	環境学習・教育の総合的推進		所管部局課名	農政環境部環境創造局環境政策課					
事業名	幼児期の環境学習推進事業 (幼児生物多様性学習推進事業)		担当者電話番号	環境学習係 3399					
事業目的	自然体験等を通じて生命の大切さを学ぶ学習に取り組む幼稚園・保育所での環境学習を推進し、日常的な展開や生物多様性の保全への理解を促進することにより、幼児期から児童期への環境学習・教育の円滑な接続を図る。								
事業内容	幼稚園教諭・保育士を対象に、屋外での自然体験やワークショップを通して幼児に対する環境学習の考え方やスキルを身につける研修を実施する。			事業開始年度	平成19年度				
事業に要するコスト	区分	平成24年度決算額		平成25年度当初予算額		平成26年度当初予算額			
	事業費	(3,365千円) 3,365千円		(556千円) 556千円		(0千円) 0千円			
	人件費	810千円	従事人員 0.1人	790千円	従事人員 0.1人	0千円 従事人員 0.0人			
	総コスト (+)	4,175千円	従事人員 0.1人	1,346千円	従事人員 0.1人	0千円 従事人員 0.0人			
事業の目標	「日常性」「継続性」のある環境学習に取り組む幼稚園・保育所の全県展開			【目標設定理由】 家庭との連携・地域とのつながりを大切にした環境学習・教育の展開を図るため。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		24年度実績	25年度見込み	26年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H24	H25	H26(目標)
	環境学習実践研修参加者	100人/年	H21~H25	106 (39千円)	108 (12千円)	/	106.0%	108.0%	/
ひょうごっこグリーンガーデン事業実施園数	1,576(累計)	H19~H24	302 (累計1,578) (14千円)	/	/	100.1%	/	/	
評価結果	必要性	幼稚園教諭・保育士の人材育成や環境学習に係る情報提供、支援者の紹介などを引き続き行い、各園の日常的、継続的な取組を支援する必要がある。							
	有効性	幼児期における環境学習を継続的に実施することにより、児童期の小学校3年生「環境体験事業」、小学校5年生「自然学校推進事業」への接続が効果的に行われる。							
	効率性	幼児期の環境学習・教育を推進するために、幼稚園・保育所を主体とする環境学習・教育の実施が効率的である。							
	民間・市町との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の市町立、私立の幼稚園・保育所などで環境学習を地域と連携して実施。</li> <li>県は、体験型環境学習に係る情報収集、手法・事例の紹介やノウハウの提供に努めるとともに、指導現場の人材育成を支援し、地域は、子どもたちが地域・家庭における環境学習・教育の実践活動を支援するために、県の負担は適正である。</li> <li>体験型環境学習は、園の経費を負担して実施するものであるが、幼稚園教</li> </ul>							
受益と負担の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験型環境学習は、園の経費を負担して実施するものであるが、幼稚園教</li> </ul>								
実施方針	方向性	新規 (廃止)	拡充 縮小	継続 統合	凍結(休止)	実施手法の見直し 延長 終期設定			
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更 事務改善 その他			
説明	幼稚園・保育所が「日常性」、「継続性」のある環境学習や生物多様性の恵みを実感する学びの場づくりとして、当初の目標(500人)を上回る549人の幼稚園教諭・保育士に対して研修を実施し、「生物多様性の保全」への意識付けができたため。								